

議長（志村 忠昭）

これをもって、4番、村井保夫議員の質問は終わります。

次に、3番、金井浩三君。

議員（金井 浩三）

一般質問。3番、金井浩三。

2点ほど質問させていただきます。

まず第1点目は、上下水道について。

4月11日の日本経済新聞の中に「総務省は全国の地方自治体に対し、上下水道事業の10年先までの収支計画を作るよう今夏から要請する。上下水道は市町村や都道府県が運営する。上下水道管や処理設備は高度成長期やバブル期に整備したものが多く、40年前後の耐用年数を超え始めている。各自治体は人口減や節水による需要の減少を踏まえ、施設の集約や小型化を進めているが、更新費の膨張を食い止めるのは難しい状況。これまでも料金の引き上げに動く自治体はあったが、住民や議会の反対にあい断念するケースが多かった。」と新聞に載っていました。

そこで質問します。

今後の上下水道の課題をどうとらえているのか。

また中長期的に考えることはしないのか、ご答弁をお願いします。

続きまして第2点目は小中学生の不登校について。

今年8月8日の四国新聞に、「香川県内中学生の2013年度の不登校生徒は2012年度より11人増の829人で2年ぶりに増加した。県教委は学校生活の変化に対応できない中1ギャップが主な原因と分析。そこで13年度は県が各市町村に対してソーシャルワーカー配置に補助金を出し、6人増の24人に拡充したが不登校は増加に転じた。また小学生の不登校は141人で前年度から5人増となった。」とありました。

そこで質問します。

多度津中学校の不登校生徒の状況はどうなっているのか。

町内小学校もあわせて具体的な人数もお答えください。

また、不登校生徒への対応や、未然の予防策についてもお聞きします。

以上2点について、分かりやすくご丁寧なご答弁よろしくをお願いします。

町長（丸尾 幸雄）

金井浩三議員のご質問のうち「上水道について」お答えをしまします。議員ご指摘のように、上水道の浄水施設をはじめ、排水管も老朽化が進み、耐用年数を超え始めております。

このまま老朽化が進み市町単位で更新事業に着手することになれば、各市町に大きな負担を強いることになるとの考えから、県下の市町共同で、上水道

一元化を検討しております。

多度津町といたしましても、将来的に安全な水道水を安定供給することが町民生活を守る上で必須となりますので、上水道の一元化については、県下各市町の動向も踏まえながら検討しているところであります。

ご理解賜りますようお願いを申し上げ、ご質問に対しましては教育長をはじめ各担当課長より答弁をして参りますのでよろしくお願いを致します。

上下水道課長（河田 数明）

金井議員ご質問の1点目、「今後の上下水道の課題について」の答弁をさせていただきます。

まず、上水道事業におきましては、平成16年6月に厚生労働省が「水道ビジョン」を作成したことを受け、当町におきましても、安心・安定・持続・環境の各課題を整理し、水道事業の改革・改善に取り組んでいくため、平成30年を目標年次とした「多度津町水道ビジョン」を、平成21年3月に策定しております。

その中で、現状の分析・評価と課題の抽出を行い、今後の目指すべき方向や、目標を実現するための施策を検討し、水道事業整備計画をたてております。

現在まで、その整備計画に基づきまして、大木水源地更新工事及び、朝日堀水源地取水設備工事並びに、耐震化も含めた老朽管更新工事を実施しております。

今後の水需要の低迷により、水道料金の収入が減少傾向になりますが、「快適な暮らしに欠かせない水道の安全安定供給をめざして」を基本理念として、水道事業を経営してまいります。

次に、下水道事業につきましては、新聞に掲載のとおり、四国財務局より10年先までの収支計画を作成するよう指導があり、今後の使用料収入や事業費などを加味した収支計画を、作成したところでございます。

下水道事業は、昭和59年度に流域関連公共下水道事業として事業認可を取得し、随時事業認可拡大を行いながら整備を行ってまいりました。

計画区域の内、事業認可取得区域の汚水管の面整備を平成23年度に完了したことから、議員の皆様のご理解をいただいた上で、事業を休止しております。

今後は、雨水事業は実施しながら、築造から概ね30年を経過する管渠施設やポンプ場などの調査を行い、耐震化も含めた長寿命化計画を順次策定し、施設の更新及び地震や津波対策などを、計画的に行ってまいります。

上水道事業・下水道事業ともに、事業実施にあたっては、多額の費用が発生することから、計画的な維持管理など、効率的かつ経済的に事業を実施してまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

教育長（田尾 勝）

金井議員の小中学校の不登校問題についてのご質問にお答えします。
議員ご指摘の通り、不登校の子ども数は小学校から中学校になって多くなる傾向にあります。

それは本町だけではなく、県、全国的にも同様な傾向が見られます。
こうした不登校の問題について学校や町教委は、重要な課題であると認識し、解決に向けて対処してきたところであります。
そこで、本町の不登校の現状、そして不登校対策の2点からご説明申し上げます。

「不登校」とは、何らかの心理的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいは登校したくてもできない状況を言います。

本年7月末時点での多度津中学校の累計30日以上欠席者は15名です。

このうち不登校の生徒は11名です。

「不登校」に限って、過去の調査を見ますと、同様に30日以上欠席者が、平成23年度が19名、平成24年度、平成25年度いずれも18名となっています。

また、小学校は本年7月末現在で2名、平成23年度が5名、平成24年度、平成25年度はいずれも3名となっております。

次に2点目の不登校生徒への対応、未然防止策についてですが、多度津町では、2名のスクールカウンセラーと1名のスクールソーシャルワーカーを配置し、中学校および4つの小学校で、定期的に勤務し、子どもたちや保護者に対して教育相談活動を行っております。

このことにより、不登校傾向を示した児童・生徒の状況を把握し、教職員と連携を図り、ケース会を開いて対策を検討したり、小・中の連携のある取組に生かしたりしております。

また、小・中学校では、定期的にアンケート調査を実施し、子どもたちの心身の状態を把握したり、児童生徒が安心して過ごせる「居場所づくり」に取り組んだりすることにより、早期発見、未然防止の対応をしております。

なお、不登校気味、或いは不登校に陥った児童・生徒に対しては、学級担任が中心となり、家庭訪問、電話連絡を繰り返しながら、保護者や地域の人たちと連携を図り、居場所の確認や支援体制の構築を行っております。

さらに、少年育成センター内に、教育支援センターいわゆる適応指導教室を設け、支援の先生のもとで不登校生徒が学習できるような場づくりを進め、学校への復帰を支援しております。

こうした場と機会を通して、子どもと子ども、子どもと教師、保護者と教師・関係機関とのよりよい関係づくりを図りながら、粘り強く不登校問題の解決を図っていかうと考えております。

また、新しい中学校校舎には、相談活動や個別指導により早期発見、早期対応

ができるように、相談室だけではなく、カウンセリングルーム、保護者相談室などを設け、活用しやすい配置としており、不登校問題の解決のための教育環境を整えようとしております。

以上で、金井議員のご質問についての答弁とさせていただきます、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

議長（志村 忠昭）

以上で、金井議員の一般質問に対する答弁は、町長、教育長、担当課長からありましたが、金井議員、再質問があればお受けいたします。

議員（金井 浩三）

水道事業に関してなんですが、差し迫っての問題は北鴨の浄水場、また上下水道課が入居されている建物の老朽化、この辺が問題があると思うんですが、この辺はどう考えているのですか、ご答弁お願いします。

それと不登校に関して、全く出て来ていない生徒は何人いるのですか。

学校へ、長期ですね。

短期30日以上の方の方には分かりましたが、その中で全く出て来ていない方、その辺よろしくをお願いします。

上下水道課長（河田 数明）

金井議員再質問のうち1点目の北鴨浄水場の更新の関係ですが、先程町長の方から答弁させていただいたように、今現在関係市町で共同化の検討をしております。

その中で結果によりまして、北鴨浄水場の更新の方も考えていかなければならないとは考えております。

それと私どもがおります建物の件でございますが、この建物は、ちょっと何年か忘れたんですが、近々に耐震対策は行なっております。

行なっておるということで、一応地震があっても耐えられると考えておりますので、今のところ更新ということは考えておりません。

以上、答弁とさせていただきます。

教育長（田尾 勝）

金井議員の再質問についてですけれども、本年度に入って全く学校に登校できていない生徒児童なんですけれども、今現在私が把握しとんは中学校で1名おるといのは聞いておるんですけれども、ちょっと詳細なことをもう一度確認して報告するというところで構いませんでしょうか。

議長（志村 忠昭）

金井議員、いいですか。

これをもって、3番、金井浩三議員の質問は終わります。

ここで、休憩に入ります。
再開は、1時ちょうどにさせていただきます。
1時ちょうどに再開いたします。

休憩 午前11時54分
再開 午後13時00分

議長（志村 忠昭）

休憩前に引き続きまして午後の会議を始めます。
最初に、田尾教育長より金井議員の再質問に関し発言の申し出がありましたので、これを許可いたします。

田尾教育長。

教育長（田尾 勝）

金井議員の再質問についてお答えします。
本年度の4月から現在までで1日も登校できなかつた児童生徒の数ということでした。
児童は0、中学校で1名いますのでお答えしたいと思います。
以上です。